

古（いにしえ）に学び ひと手間 惜しまない教育

明けましておめでとうございます。昨年は様々な場面で対面しての学習や行事等が実施されました。学校内での児童、教職員の活発なふれあい、保護者の皆様、地域の皆様の制限無しの行事参加等、新しい生活様式、学習スタイルを確立し、子供たちが関わり合いを通じて学べることを最優先してきた年でした。

令和6年を迎え、教職員一同、子供を中心に据えて「蘇我小でよかった」と思える学校づくりのために「ひと手間 惜しまない」精神で一丸となって頑張りたいと考えています。創立 152 年にふさわしい学校を目指して決意を新たにしているところです。

★3つ目の校歌に思う・・・「心も直ぐに 健やかに」の心で

蘇我小学校の校歌は3つ存在しています。『創立 100 周年記念誌』には座談会を記載した中に、校歌に関する歴史的な記事が書かれています。現在歌われている3つ目の校歌は、新校舎落成記念として昭和 32 年に『全校児童が心をひとつにして蘇我小学校を盛り上げていく、学校の魂』として制定されたようです。

完成した校歌は、朝な夕なに歌われ非常に重要な役割を果たしたようです。

校歌に、私の好きな歌詞があります。

♪心も直ぐに 健やかに

♪学ぶ吾らの 愉しさよ

この精神が、今年度の学校教育目標「学ぶ愉しさを知り、なかよく、ねばり強い子供の育成」に込められています。

★ひと手間かけて育てる そがっこ

学校には、6歳から 12 歳の子供たちがいます。発達段階に応じた効果的で適切な指導が必要です。担任を中心に学年の先生や、専科、養護教諭、栄養教諭、事務職員、図書館指導員等、全教職員が専門性を生かして子供の心、体、学力の育成に「ひと手間」惜しまず、毎日奮闘しています。しかしながら「ひと手間」がどんどん積み重なっていくと、苦しくなることもあります。令和6年度の教育課程をより効果的なものにするため、全職員でスクラップ&ビルドの精神で協議を重ねています。大胆な発想転換、改革も視野に入れて検討しています。

子供達の「成長」を促し、一人一人の「思い」をくみ取った教育を保護者、地域の皆様と築いていきたいと考えています。

校長